

2012年度事業報告書

1. 仲裁・調停等業務及び事前相談への対応（2013年3月31日現在）

年度	AP:スポーツ仲裁規則			DP:ドーピング紛争に関するスポーツ仲裁規則			SP:特定仲裁合意に基づくスポーツ仲裁規則			MP:特定調停合意に基づくスポーツ調停(和解あっせん)規則				他の解決手段を利用した事案	その他の相談事案	取扱事案総数			
	仲裁申立受理事案数		仲裁不承諾事案数	仲裁申立受理事案数		仲裁不承諾事案数	仲裁申立受理事案数		仲裁不承諾事案数	調停申立受理事案数			調停不承諾事案数						
	仲裁判断数	仲裁申立取下事案数		仲裁判断数	仲裁申立取下事案数		仲裁判断数	仲裁申立取下事案数		和解成立事案数	調停不調事案数	調停取下事案数							
2003	3	3	0	2											2	5	12		
2004	2	2	0	1				0	0	0	0				1	8	12		
2005	2	1	1	0				0	0	0	0				4	9	15		
2006	1	1	0	0				0	0	0	0	0	0	0	2	8	11		
2007	0	0	0	2				0	0	0	0	1	0	1	0	3	6	13	
2008	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	18	25	
2009	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	19	25	
2010	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	17	23	
2011	3	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	23	
2012	4	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	37	44	
合計	23	17	4	8	3	3	0	0	0	0	1	5	3	1	1	4	15	145	203

(1) 2012年度(2013年3月31日現在)の仲裁・調停等業務について

スポーツ仲裁申立件数:5件(仲裁判断数1件、取下げ1件、不承諾1件、継続中2件)、ドーピング紛争に関するスポーツ仲裁申立件数:1件(仲裁判断数1件)、特定仲裁合意に基づくスポーツ仲裁申立件数:1件(不承諾1件)、調停申立件数:1件(不承諾1件)

(2) 事前相談への対応について

相談数:37件 相談対応者:仲裁・調停等専門事務員 新宅、前田

2. スポーツ仲裁シンポジウム

日時:2012年10月26日(金)14:30~17:30 場所:日経カンファレンスルーム

テーマ:オリンピック・パラリンピックにおけるソフト面でのインフラ整備 参加者:110名

3. 理解増進活動事業

理解増進事業専門職員 通年:小川和茂、前期:千賀福太郎、

(1) 競技者等に対する研修会

・JSAA主催研修会【17回】(兵庫県体育協会、大阪体操協会、群馬県ライフル射撃協会、日本障害者スポーツ協会、宮城県体育協会、全日本アーチェリー連盟、日本スケート連盟、栃木県体育協会、香川県体育協会、熊本県体育協会、北海道体育協会、長野県体育協会、愛知県体育協会、日本ゲートボール連合、熊本県八代市体育協会、全日本弓道連盟)

・JADA主催研修会【1回】(全日本スキー連盟)

(2) 競技者等に対するアウトリーチ活動

・夏季国体(岐阜県)開会式、剣道、相撲、ボクシング、バドミントン(10日間)

・冬季国体(秋田県)スキー(4日間)

(3) 競技団体に対する説明会

・JSAA主催説明会【1回】40人参加 ・JADA主催説明会【2回】 ・JSAD研修会【1回】

(4) 仲裁人等に対する研究会

・スポーツ仲裁法研究会【3回】

・ドーピング仲裁研修会【2回】

4. 海外派遣研修事業

(1) Sport Resolutions への派遣

派遣期間:9月30日~3月17日 派遣国:イギリス 派遣者:千賀福太郎

(2) Melbourne Law School への派遣

派遣期間:9月26日~12月27日 派遣国:オーストラリア 派遣者:榎田葉子

5. 調査研究事業

(1) ドーピング法制度調査研究委員会

・佐伯仁志委員長、高山佳奈子副委員長 ・内容:ドーピングに対する法的制裁制度に関する調査研究

・委員会2回、WG3回、海外招聘者ヒアリング調査1回、海外調査3回

(2) ドーピング仲裁判例研究会

・早川吉尚委員長 研究会6回

・内容:CASドーピング仲裁判断の評釈研究

以上